

1. 題材について

対 象 学 年	小学校 第6学年
学習指導要領	第5学年及び第6学年の内容 A表現(1)ア・イ
題 材 名	「福戸ヶ丘の風をさがして」(全6時間)
題 材 目 標	<p>学校を取り巻く風に関心をもち、風の感じや場所や材料に合わせて造形活動を楽しむことができる。 【造形への関心・意欲・態度】</p> <p>見つけた風の感じや場所、材料の特徴を生かし、環境と調和させながら表すために、表し方の工夫をすることができる。 【発想や構想の能力】</p> <p>見つけた風の感じや場所の特徴を生かすことができる材料や表し方を選び、形や色や大きさの工夫をしながら造形的に構成することができる。【創造的な技能】</p> <p>風の動きを感じとり、作品を持ち歩いたり飾ったりしてその動きや変化を楽しむことができる。 【鑑賞の能力】</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 題材指導計画作成上の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4観点から、本材題の基礎的・基本的な内容を具体化し、単位時間における指導内容を明確にする。特に、風にまつわる体験を交流する場や、風を探す場、話し合いの結果を試す場等を設け、環境の変化や表し方の違いによるよさや楽しさを味わうことができるようにする。 <p>単位時間における工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎配置図や写真を用い、日常の体験を交流しながら一人一人が風に対する思いを語り、課題をもって活動することができるようにする。 ・活動を記録し、作品設置の前後や風が吹く前後の風景の変化が味わえるようにする。 ・効果的な材料や加工方法、設置方法等の例を示し、風が吹かない時の形や色の様子や、活動後の場所や材料のことを考えることができるようにする。 ・学習ノートや観察によって一人一人の実態を把握し、評価規準をもとに単位時間のねらいに迫るための指導・援助をすることができるようにする。
参 考 資 料	<p>鑑賞資料1：校舎配置図</p> <p>鑑賞資料2：風景写真</p> <p>指導資料1：材料の具体例</p> <p>指導資料2：材料の加工や設置方法の具体例</p> <p>学習ノート</p>

2. 題材の評価規準

	a 造形への関心・意欲・態度	b 発想や構想の能力	c 創造的な技能	d 鑑賞の能力
内容のまごとのまのり評価規	<p>【表現】 材料や場所などに働きかけ、それらの特徴から発想したり、考えたりしたことをもとにして、想像力や技能などを総合的に働かせ、美しさなどを感じ取りながら、自らつくりだす造形活動の喜びを味わおうとする。</p> <p>【鑑賞】 自分たちがつくりだした作品や暮らしの中の造形作品、親しみのある美術などに関心をもち、その美しさや表し方のよさ、表し方の変化の面白さなどを味わおうとする。</p>	<p>材料や場所などの特徴を見付け、それをもとに発想し、つくるものの意図や美しさ、楽しさなどを考え、周囲の様子を考え合わせるなどして、デザインの能力などを働かせ、構想する。</p>	<p>材料や場所などにかかわり、構成の美しさや面白さを感じ取り、つくりつつあるものを振り返り、環境を造形的に構成するなど、創造的な技能や造形感覚、感じ取る力などを関連づける創造的な表現などを働かせ、表し方を工夫する。</p>	<p>造形作品などを、自分らしい見方や感じ方で能動的に鑑賞し、よさや美しさなどに親しむ。</p>
題材における評価規準	<p>【表現】 学校を取り巻く風に関心をもち、風の感じや場所や材料に合わせて造形し、その場所や材料の変化を楽しもうとする。</p> <p>【鑑賞】 風を感じとり、材料や場所の動きや変化を楽しもうとする。</p>	<p>風の感じやその場所の特徴、材料から発想を広げ、形や色、大きさの工夫をしながら、場所との調和の取れた自分らしい表現を構想する。</p>	<p>風の感じやその場所の特徴を生かすことができる材料や表し方を選び、造形感覚を働かせて、形や色を組み合わせて表現する。</p>	<p>風を感じとり、互いの作品を交流し合ったり持ち歩いたり飾ったりして、その動きや変化を楽しむ。</p>
単位時間における評価規準	<p>風になびきそうな材料を持ち寄り、表し方を試しながら材料の変化を楽しもうとする。</p> <p>見つけた風の感じや材料、表し方を発表し合い、よさや楽しさを味わおうとする。</p>	<p>変化する楽しさや美しさを想像しながら、材料を風に当て、音を出したり切ったりつないだり並べたりして表し方の構想を練る。</p> <p>作品を飾ったりその前後の様子の変化を比べたりしながら、新たな見方や考え方に気付く。</p>	<p>風、場所、材料、表し方の関連を考え、視覚的な美しさや動きの変化の楽しさを効果的に表すための工夫をする。</p>	<p>互いの作品を交流し、場所や風との関わりから、材料の使い方や表し方のよさや楽しさを味わう。</p>

3. 指導と評価の計画（全6時間）

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	風を感じる場所や状況を想像したり実際に風を探したりしながら、風を表す手段としての材料や表し方を考える。	<p>風を体感し、風を色や形や音に置き換える方法を考える。</p> <p>風を見つけた場所とその感じを学習ノートに書き込む。</p> <p>互いに見つけた風を表すのにふさわしい材料や表し方を話し合い、活動の見通しをもつ。</p>	<p>< b - > 変化する楽しさや美しさを想像しながら、材料を風に当て、音を出したり切ったりつないだり並べたりして表し方の構想を練る。</p>	<p>学習ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの方法で風を見つけ、材料で試しながらその表し方を考えることができたか。 <p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間の考えのよさを味わい自分の活動に取り入れようとしたか。 	<p>材料と表し方を組み合わせた数種類の基本形を提示し、それをもとに自分なりの方法に発展させることができるようにする。</p> <p>意見交流をしながら、意外性のある発想や材料や表し方のよさ楽しさに気付くことができるようにする。</p>
2 3	組み合わせ方や表し方による材料から受ける感じの違いを楽しみながら、それぞれの特徴を生かした試しをする。	<p>風を表すことへの関心を高め、持ち寄った材料で自分なりの表し方を試す。</p> <p>収集した材料と効果的な表し方を学習ノートに書き込み、実際に材料を使って試しをする。</p> <p>材料を飛ばしたり、空気をためたり、なびかせたり、回転させたりするなど、様々な材料と表し方の組み合わせを試す。</p>	<p>< a - > 風になびきそうな材料を持ち寄り、表し方を試しながら材料の変化を楽しもうとする。</p> <p>< b - > 変化する楽しさや美しさを想像しながら、材料を風に当て、音を出したり切ったりつないだり並べたりして表し方の構想を練る。</p>	<p>学習ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風になびきそうな身近な材料を意欲的に収集し、自分の表し方に見合った材料を選びながら試しをすることができたか。 <p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が感じた風を表すために、材料の特徴を生かしながら様々な試しをすることができたか。 	<p>持ち寄った材料が風に敏感に反応するような効果的な使い方の助言をするとともに、基本的な道具の扱い方が身に付くようにする。</p> <p>風を見つけた場所やその感じを再確認し、どんな材料や表し方が似合うか言葉や文章で表現することができるようにする。</p>
4	風の吹く時と吹かない時や作品を	<p>風を見つけた場所に出かけ自分なりの方法で風を表す</p>	<p>< b > 作品を飾ったりその前後の</p>	<p>観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品を飾る前後による 	<p>飾るものの数や大きさ、色の組み合わせ等を意</p>

5	飾る前後の様子の変化を感じながら、その場所に見合ったよりよい表し方を見つける。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">場所の特徴を生かしながら、作品を飾る前後の感じの違いが効果的に表れるようにする。</div>	<p>様子の変化を比べたりしながら、新たな見方や考え方に気付く。</p> <p>< c - > 風、場所、材料、表し方の関連を考え、視覚的な美しさや動きの変化の楽しさを効果的に表す工夫をする。</p>	<p>場所の様子の変化に気付き、新たに工夫をすることができたか。</p> <p>作品 ・場所に調和した数、形、色や大きさになっているか。</p>	<p>図的に変えることによって、場所そのものの感じ方も変化することに気付くことができるようにする。</p> <p>公共の場が活動場所であることを留意し、作品を遠くから鑑賞したり仲間の意見を取り入れたりして、視覚的に心地よい表現をすることができるようにする。</p>
6	思い思いの場所に作品を設置し、互いの作品を鑑賞しながら、風を表す造形活動の楽しさを味わう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">つくったもので遊んだり場所を変えたりしながら、互いの作品のよさや楽しさを味わう。</div> <p>作品の設置場所を変えたりしながら、作品による場所の感じの変化や風の動きによる作品そのものの変化を楽しむ。</p> <p>互いの作品のよさを見つけ、学習ノートに書き込む。</p>	<p>< a - > 見つけた風の感じや材料、表し方を発表し合い、よさや楽しさを味わおうとする。</p> <p>< d - > 互いの作品を交流し、場所や風との関わりから、材料の使い方や表し方のよさを味わう。</p>	<p>観察 ・場所や作品と積極的に関わり、作品を通して自分なりの方法で風を感じることもできたか。</p> <p>学習ノート ・互いの作品のよさや楽しさを具体的に捉えることができたか。</p>	<p>風による作品の変化だけではなく、作品を設置すること自体で場所の様子が変化することにも着目することができるようにする。</p> <p>鑑賞の視点として、自分との共通点や相違点に着目し、そのよさや楽しさを文章として、具体的に表すことができるようにする。</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・風を感じる場所や状況を想像し、実際に風を探したり材料を手にしたりしながら、風を表すための具体的な方法を考えることができる。

(2) 本時の位置

1 / 6時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
<p>導 入 展 開 ま と め</p>	<p>題材の大まかな流れをつかむ。 ・事前準備で見つけておいた風を感覚的に表す活動であることを知る。</p> <p>活動例を鑑賞する。 ・風を見つけた場所 ・その風の印象 ・材料や表し方の検討 ・実際の作品</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>風を体感し、風を色や形や音に置き換える方法を考えよう。</p> </div> <p>自分が見つけた風やその感じを表すための方法を考える。 ・教師の活動例や提示資料をもとに材料や表し方を考え、仲間と助言し合う。 ・材料コーナーを活用し、実際に材料を手にしながら試しをする。 ・話し合った内容を学習ノートに記入する。</p> <p>話し合いの振り返りをする。 ・斬新なアイデアや意外性のあるアイデアを発表し、よさや楽しさを味わう。</p> <p>次時の見通しをもつ。 ・持ち寄って使えそうな材料やあると便利な道具等を考えておく。</p>	<p>見つけた風やその感じを表すための材料や表し方の見通しをもつ。</p> <p>作者の願いや材料や表し方の工夫を感じ取りながら鑑賞しようとする。</p> <p>< b - > 変化する楽しさや美しさを想像しながら、材料を風に当て、音を出したり切ったりつないだり並べたりして表し方の構想を練る。 〔観察〕〔学習ノート〕 ・自分なりの方法で風を見つけ、材料で試しながらその表し方を考えることができたか。</p> <p>A 評価 ・風や場所から受ける印象と、多様な種類の風になびく材料や表し方とを関連的に捉え、次々に新たな方法を試みる。</p> <p>見つけた風の感じや材料、その表し方を発表し合い、よさや楽しさを味わおうとする。</p>	<p>特別な制限のないことを確認し、自分なりの見通しをもって活動することができるようにする。 各段階で留意したことを話すことで、願いに応じた材料や表し方があることに気付くようにする。</p> <p>材料と表し方を組み合わせた数種類の基本形を提示し、それをもとに自分なりの方法に発展させることができるようにする。 < 努力を要する児童への指導 > ・ナイロンテープやビニル袋を多数用意し、実際に風に当てる活動をさせることで、その個なりの気付きや発想を生み出すようにする。 自分の考えとの相違点に着目するように助言する。</p>

5 評価の進め方の具体例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

< b - >

変化する楽しさや美しさを想像しながら、材料を風に当て、音を出したり切ったりつないだり並べたりして表し方の構想を練る。

(2) 評価の実際

【評価の方法】

【観察】〔学習ノート〕: 自分なりの方法で風を見つけ、材料で試しながらその表し方を考えることができたか。

【判断の事例】

- ・ 体育館へ続く通路の途中で強烈な風を見つけたF児は、その風を「通ってみないと分からない青っぽい風」と、学習ノートに表現していた。その場所へ何度も足を運び、そこに立つことで初めて分かる耳元の風の音や強さを体感し、ナイロンテープ等を設置する前後の場所の変化味わっていた。また、様々な材料をその場所に持ち込み、自分のイメージに最も近いものを探し出そうとしていた。よって、風や場所から受ける印象と、多様な種類の風になびく材料や表し方とを関連的に捉えていると考えられるため、十分満足できると判断した。
- ・ D児は自分の体で感じた運動場のフェンス際の風を「あたたかくてやさしい風」とイメージし、その感じを表すために、どんな材料を用いたらよいか、どんな大きさにしたらよいか、どれくらいの数を並べたらよいかを、仲間の助言を取り入れながら学習ノートに繰り返しスケッチしていた。その後、無数の小旗を地面に並べることに決め、色紙やティッシュで実際に小旗を作り、息を吹きかけて風を受けたときの様子を観察していた。その結果をもとに、学習ノートに「次の時間に持ってくるもの」として、様々な材料を記述していた。よって、評価規準に到達していると考え、おおむね満足できると判断した。
- ・ E児は本題材には強い興味を示してはいたが、事前準備の「どこで風を見つけましたか?」「どんな感じの風でしたか?」の記述は、ともに未記入であった。本時は、自分で見つけた風を材料の動きや色の変化で表すというよりは、扇風機やうちわのような風の発生源の方に目を奪われていた。また、材料を風になびかせたり加工したりする姿もほとんど見られなかった。学習ノートには、「うちわを作りたい。」と記述していた。よって、風・場所・材料とを関わらせてその楽しさや美しさを想像することができなかつたと考えられるため、努力を要すると判断した。

(3) 個に応じた指導の実際 (Bに達しなかった児童に対して)

【つまずきの傾向と指導の意図】

表す対象が視覚で捉えることができないため、どのような材料でどのように表したらよいか戸惑うと予想された。そこで、事前活動として「風さがし」の場を設け、風そのものを体感することができるようにした。次に、作品化することにばかりとらわれることのないように、目だけでなく耳や鼻や体全体で風を感じるような活動を願った。

【指導の実際】

事前に実際に屋外に出かけ、「どこで風を見つけましたか？」を記述させた。次に、「どんな感じの風でしたか？」として、五感を頼りにその風を表現させた。

本時の導入段階では、風を表すためのいくつかの具体例とその意図を伝えた。その中でも、子供たちにとって最も違和感なく受け入れることができるのは、風を視覚的に表現する方法であると考えたため、風になびくナイロンテープやビニル袋を多数用意し、「これらがどうなったときに風が吹いていると分かるか」と問い掛け、一人一人実際に試しをさせた。

【児童生徒の変容】

当初は、風といえば台風や鯉のぼりや扇風機などのような既成のイメージから脱しきれなかった子供たちではあるが、実際に材料を手にして試しを繰り返すうちに、「耳や鼻でも風を見つけることができる。」「タンポポの綿毛が一本あれば風を表せる。」「風がなくても揺れていれば風があるように見える。」と、新たな発見をするようになった。また、激しく風が吹いているにもかかわらず常に静けさを保っている通路に面白さを感じたり、予想外の動きをする飾りに楽しさを感じるようになってきた。

6 参考資料

- ・学習ノート「風をさがして」

福戸ヶ丘の

風をさがして

あとから作品の写真をはる場所です...

タイトル

土岐市立下石小学校

6年 組 アーティスト氏名

月日	めあてのふりかえり	自己評価
/		
/		
/		
/		
/		
<p data-bbox="172 1126 847 1167">「福戸ヶ丘の 風をさがして」の学習を終えて...</p> <hr data-bbox="172 1413 1433 1417"/> <hr data-bbox="172 1458 1433 1462"/> <hr data-bbox="172 1503 1433 1507"/> <hr data-bbox="172 1547 1433 1552"/> <hr data-bbox="172 1592 1433 1597"/>		

福戸ヶ丘の風をさがそう！

どこで風を見つけましたか？

その風はどんな感じの風でしたか？

福戸ヶ丘の風をあらわそう！

自分が見つけた風を見えるようにするには、どんな方法がありそうですか？

そのためには、どんな材料があるとよいですか？

アイデアを絵であらわすと...



こんな感じになるといいな...

計画を見直そう！

- ・風をあらわすために、もっともっといい方法はないだろうか。

次回までに準備するもの(材料や道具)

協力してほしいこと(材料や道具、作り方)

・評価記録表

題 材 名		「福戸ヶ丘の風をさがして」第5学年及び第6学年の内容 A表現(1)ア・イ					
		関心・意欲・態度	発想や構想の能力		創造的な技能	鑑賞	
評 価 規 準	【表現】					【鑑賞】	
	< a > 袋や布やテープ等の風になびきそうな材料を持ち寄り、表し方を試しながら材料の変化を楽しもうとする。	< b > 自分の感じた風や場所の様子が変化する楽しさや美しさを想像しながら、材料を風に当て、音を出したり切りつないだり並べたりして表し方の構想を練る。	< b > 風を感じた場所に作品を飾ったりその前後の様子の変化を比べたりしながら、新たな見方や考え方に気付く。	< c > 風、場所、材料、表し方の関連を考え、それらの特徴を生かすことができるように、視覚的な美しさや動きの変化の楽しさを効果的に表すための工夫をする。	< a > 見つけた風の感じや材料、その表し方を発表し合い、よさや楽しさを味わおうとする。	< d > 互いの作品を交流し合ったり持ち歩いたり飾ったりして、共通点や違いを見つけ、場所や風との関わりや、材料や表し方のよさや楽しさを味わう。	
時 間							
月 日		/ /	/ / /	/ /	/ /	/	/
名 前	評 価						
	平 均						
	特 記 事 項						
名 前	評 価						
	平 均						
	特 記 事 項						
名 前	評 価						
	平 均						
	特 記 事 項						
名 前	評 価						
	平 均						
	特 記 事 項						

